～平成２０年度　沼田市立升形小学校～　　生活科研究構想図

〈研究主題〉

「考える力」を育てる授業の改善

～問題解決的な学習過程における手立ての工夫を通して～

〈生活科の目指す「考える力」を身に付けた児童像〉

○具体的な活動や体験に積極的にかかわり、気付いたことを伝えようとする子

○活動を通して学び合い、新たな気付きを見出す子

気付きの質の高まり

ふりかえる過程

・気付いたことや楽しかったことを言葉や絵、動作で表現したり、劇化したりする。
・互いの発見や考えを共有し、共通点や違いがないか比べる。
・自分の体験をこれまでの体験や気付き、友だちの発見と関連付ける。
・友だちや自分の活動のよさ、成長した自分を見付ける。

気付きの関連付け

はたらきかける過程

・多様に条件を変えて試行錯誤を繰り返しながら、活動を進める。
・前に体験したことと重ね合わせながら、活動を進める。
・友だちや自分の活動から見つけたよさを、次の自分の活動に取り入れる。

気付きを自覚

であう過程

・学習対象に興味を抱き、かかわりを持つ。
・自分なりの疑問を持つ。
・活動の簡単な計画を立てる。

気付きに無自覚

生活科の問題解決的な学習過程

【振り返りの工夫】
・自分なりに考える場や活動を見つめ直す場の設定
・伝え合い交流する活動の取り入れ
・話合いや表現における「つなぎ役」として教師の役割の明確化（指名や言葉かけ、働きかけ等の方法について）
・気付きをイメージ化できるような板書等の工夫
・アイデアカードや活動のよさの発見、確認

同じ時間内に活動と振り返りの時間を確保するため、60 分授業の活用

【活動の充実のための工夫】
・伝え合いで見付けた友だちのよさを自分に取り入れていけるよう、活動の時間を繰り返し設定
・活動の時間を十分に確保するため、業前活動を活用するなど、指導計画の工夫

繰り返しかかわっていけるような学習活動の工夫

【導入の工夫】
・日常的な体験の振り返り
・前時までの振り返りやまとめの活用

授業の工夫･改善の手立て